



広島中央トピックス

セブンに特産供給 「なす坊」「でかピー君」販路拡大



広島中央地域本部は、コンビニ大手のセブンイレブン・ジャンの商品向けに、特産のブランドナス「なす坊」と大型ピーマン「でかピー君」を供給しました。

それぞれ1日約400kgを、JA全農ひろしまを通じて出荷しました。ピーマンの供給は初めてで、ナスは4年目。加工向けの販路拡大で生産者の所得向上を図りました。

ピーマンを使った商品「広島県産ピーマンを使用・ごま香るツナピーマン」は、中国エリアの約1000店舗で、ナスを使った商品「広島県産なすの揚げびたしゆず胡椒味」は同エリアの約850店舗で販売。どちらも7月下旬から9月中旬まで販売しました。

加工向けのばら出荷のため、生産者は袋詰めの手間が省けます。同地域本部営農販売課の橋本孟治係長は「契約販売の拡充と生産者の出荷作業省力化により、農業者所得の増大と生産面積の拡大を目指す」と話します。



▲「広島県産ピーマンを使用・ごま香るツナピーマン」(左)と「広島県産なすの揚げびたしゆず胡椒味」(右)

農家の現場を体験 新人職員農業実習



広島中央地域本部は、新入職員が研修の一環として、農業実習に取り組みんでいます。8月29日には同地域本部の新入職員11人が、西条町の農事組合法人かみみながの圃場で、野菜の定植や収穫を体験しました。

新入職員は、同法人のメンバーに教わりながら移植機を使い、キャベツとブロッコリーの苗を植え付け、ひしゃくで水やりをしました。シシトウの収穫も体験しました。参加した田中一希さんは「身をもって体験し、暑い中でも作業している農家の大変さを改めて感じる事ができた。農業を支える職員になりたい」と話しました。



▲移植機でブロッコリーの苗を植える新入職員

トマトの料理教室 女性部生活部会



JA女性部広島中央地区本部生活部会は8月23日、東広島市でトマトを使った料理教室を開きました。

参加した部員5人は、トマトの栄養や効能を学び、料理には皮や種も除かず使用。地元産のトマトをふんだんに使ってジャムやピラフ、ミネストローネスープを作りました。

同部会の渡邊美恵部会長は「夏にたくさん収穫できるトマトを無駄なく使い、たくさん食べて元気に過ごしてもらいたい」と話しました。



▲トマトを煮詰めてジャムを作る女性部員

なるほどえ〜のう！ 営農情報

水稲

収穫後の管理

◆秋の耕起作業

収穫作業もほぼ終わり、一息つきたい所ですが来年に向けた米作りは早くも始まります。
刈り取り後、まず行なうのが秋の耕起作業です。作物生産の基本は土づくりにあると言われ、十分に管理された水田では、気象災害や病害虫にも強い丈夫な稲になるとされています。刈り取り後の稲ワラにはケイ酸が含まれ、地力向上には欠かせない大事な栄養素です。しっかりと腐熟させて養分を含んだ土にするため耕起を行ないましょう。



稲ワラの腐熟を促進させるには、温度、水分、酸素が必要で特に温度が重要です。これは稲ワラなどの有機物を分解する微生物の動きが気温により変化するため、およそ15℃以上の地温では活発に活動します。稲ワラは水分を含んでいるため温度が高いと分解も早いです。また、耕起により土中へ多くの空気が入ることで微生物の動きはさらに活性化し、水田の通気性、通水性、保水性が増します。

春まで耕起しない場合、春の耕起だけでは稲ワラは腐熟しきりません。未成熟の稲ワラは有害ガスを発生させ、田植え後、稲の根を傷め初

期成育が遅れる原因となってしまう。また微生物が稲ワラなどの分解の際に窒素を急激に消費することで起こる窒素飢餓状態に陥ります。秋の耕起作業は地力向上の他に、春先における作業の効率を向上させる目的もあります。刈り取り後の耕起が早ければ早いほど効果的です。気温の下がりきらない10月中に耕起を行ない、最低でも年内に1回は行なうことを推奨します。

◆すき込み方法

稲ワラのすき込みは腐熟促進のため、最初は浅めに行ないます。年内に再度、すき込む場合は、ゆっくり深く行ないましょう。

排水が悪い圃場では、微生物の活動が抑制され、稲ワラの分解が進みにくくなるので、溝をつけるなど、排水対策を行ないましょう。

◆圃場の均平化について

圃場に高低があり、土壌が水面より上に出ていると除草剤を散布しても効果が薄くなり、雑草が発生します。

一般的に田植え前の代かきの時に整備を行ないますが、これだけでは土壌を十分に動かさません。前回の

野菜

土壌診断のすすめ

◆土壌の健康診断

野菜生産は水稲以上の肥料分が必要となる場合が多く、また養分が過剰になりやすい傾向にあるため、土壌の健康状態は水稲以上に注意が必要です。

近年、「土壌のメタボ化」と言われるように、養分蓄積が問題視されています。施肥コストもかかるため、農閑期を利用して今一度、土壌の健康状態をチェックしてみたいかありませんか。

◆土壌診断で予測できること

園芸品目栽培で問題となる「連作障害」は、土壌中の病原菌が主因であると考えがちですが、実はこの肥料成分の偏りによる生育不良や、特定の肥料成分が蓄積することにより土壌病原菌が増加し、連作障害につながることも分かっています。

これは人間も栄養が偏ると病気がちになったり、合併症を引き起こしたりすることと同じです。特に毎年、生育不良が発生する圃場は、これらが原因となっている可能性があります。総合的な対策として土壌診断の実施をお勧めします。

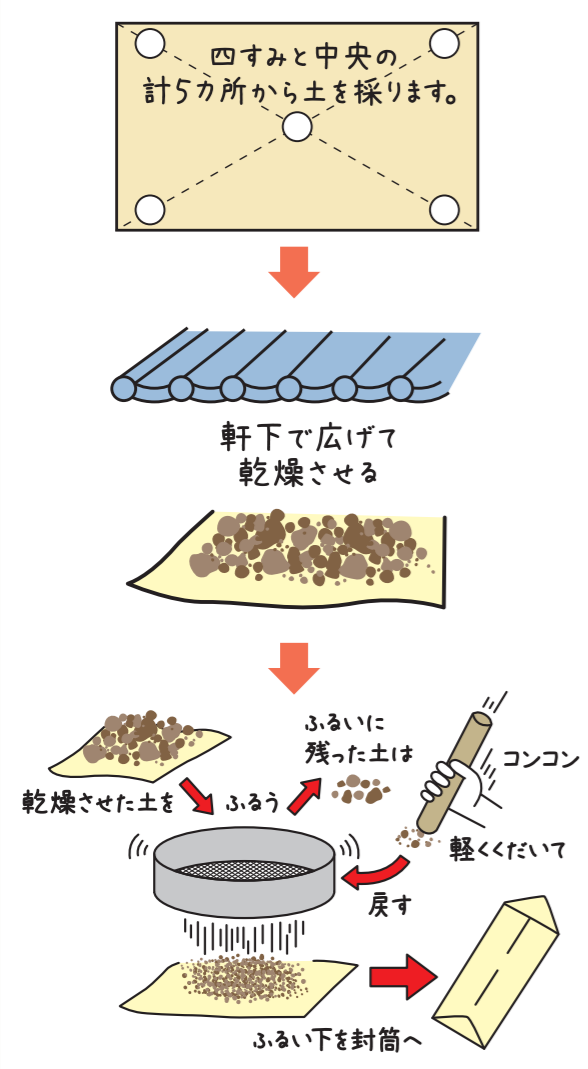
◆診断結果を基に「土づくり」

土壌診断結果が届いたら、処方箋を基に土づくりに取り掛かりましょう。

腐植を補う堆肥の投入、堆肥と相性の良い石灰・りん酸資材を投入して耕うんし、冬の寒さにさらすことで土壌の物理性が改善され、生産性の高い土づくりが期待できます。

特に夏秋ナスのような栽培期間が長い野菜品目は多量の栄養分を必要としますので、過不足の無いよう必要資材を投入するように心掛けてください。

土壌サンプリング方法



診断に提出するサンプルの採取方法は、水田の土壌診断と基本的には同じですが、塩類等が土壌表面に蓄積しやすいため表面から10cm以上下の土を採取するようにすると、数値が安定します。

肥料過剰で発生しやすい病害

- 根こぶ病**
りん酸過剰・酸性土壌で多発
- 青枯病**
石灰が少ない土壌で発生



●石灰窒素



●アグリ革命

代かき時に高い位置にあった土壌を低い位置へ動かしておきましょう。

◆腐熟促進資材
すき込みが遅れたり、毎年、次作に稲ワラが残る場合は、腐熟促進資材を使用してください。

▶ Information お知らせ

自動車共済



24か月契約キャンペーン

キャンペーン期間 令和5年4月1日(土) ▶ 令和6年3月31日(日)

上記期間中に

JAの自動車共済に、新規・継続でご加入いただいた方で、**2年契約(24か月以上)**を結ばれた方に

抽選で毎月10名様(合計120名様)に、元就、神石牛、比婆牛いずれかの

広島ブランド牛 5,000円相当をプレゼント!



※写真はイメージです。商品の内容は変更となる場合があります。

2年がお得かも~

応募資格

キャンペーン期間中を始期日とするJAの自動車共済に新規・継続でご加入いただいた方で、なおかつ、2年(24か月以上)契約を結ばれた方。※ただし、特別割増・割引適用契約を除きます。

抽選及び発表

厳正なる抽選の上、当選者の決定を致します。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

ご契約いただいた時点で自動応募となります。

*ご提供いただいた個人情報は、JAおよびJA共済連の事業および各種サービスのご提供・ご案内・充実等の目的以外には利用いたしません。また、JA共済は「個人情報保護方針」を定め、個人情報の保護に努めております。

ご存知ですか?

お得な自動車共済 **24か月契約**

共済掛金が安い!

	令和5年①	令和6年②	合計掛金(①+②)
12か月契約	58,650円	56,950円	115,600円
24か月契約	107,750円	—	107,750円

2年分掛金が **7,850円もお得!**

【試算条件】被共済者年齢:35歳、車両共済金額:295万円(1年目)、265万円(2年目)、型式:ZVV52(プリウス)、自家用普通乗用車、1年目・2年目とも20等級、事故有期間0年、年齢条件35歳以上限定、一時払契約(ゴールド免許以外)、対人対物無制限(対物超過修理保障特約有、免責0円)、人身傷害5,000万円、傷害定額給付(標準型)1,000万円、車両条項(全損害担保、免責5万円)、弁護士費用保障特約有、日常生活賠償責任特約有(令和5年4月1日現在)

■この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては、「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

[23342260070]

アグリセンター 休日営業終了のお知らせ

令和5年度のアグリセンター休日営業は、**10月15日(日)**をもちまして終了させていただきます。ご理解の程よろしく申し上げます。

広島中央農機センター移転のお知らせ

広島中央農機センターは造賀(高屋ライスセンター)へ移転し、**住所と電話番号が変更しています**。ご迷惑をお掛けしますが、よろしく申し上げます。

【新住所】東広島市高屋町造賀6659-4
【フリーダイヤル】0120-162-315 ※携帯電話からもOK
【TEL】082-430-2300 【FAX】082-436-1600

東広島市 園芸センターより

東広島市花き生産講座受講者募集

切花トルコギキョウを栽培、出荷してみませんか?

- 内容 トルコギキョウの露地栽培
- 対象 (1) 東広島市在住で市内に耕作地を確保している方
(2) 出荷販売を目的に栽培を行なう方
- 期間 11月から、月1回程度、金曜日の午後中心!
- 受講料 無料
- 定員 先着10名
- 申込期間 10月2日(月)~10月31日(火)



▲種まきから収穫までを実習



▲盆や彼岸、咲かせ方はいろいろ!



▲できた切花を持ち込んで市場で勉強会

申込・問い合わせ

東広島市園芸センター
TEL 082-433-4411